



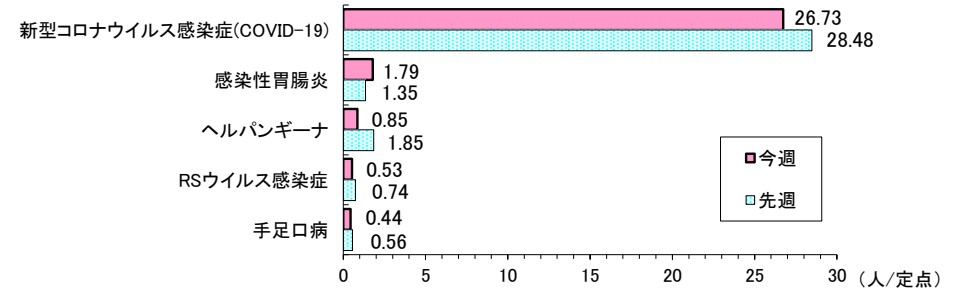
2023年第34週(8月21日~8月27日)

【第34週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で6%減少しています。保健所別では、大館、北秋田で増加、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. 感染性胃腸炎は、県全体で1.3倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、能代、大仙で同規模、秋田市で減少しています。
3. ヘルパンギーナは、県全体で54%減少しています。保健所別では、由利本荘、大仙で増加、秋田市、秋田中央で同規模、大館、北秋田、能代、横手、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



＜定点把握対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢			
	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減				
インフルエンザ	0.33	0.19	↘	0.82	0.27	↘							0.25	0.25		0.67		↘	0.33		↘	0.14	0.71	↗		0.20	↗				
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	28.48	26.73	↘	40.27	35.27	↘	14.17	23.00	↗	28.33	34.67	↗	33.75	24.75	↘	25.50	20.50	↘	22.83	18.00	↘	35.86	35.00	↘	16.80	15.60	↘	27.00	26.75	↘	
RSウイルス感染症	0.74	0.53	↘	0.71	0.43	↘	0.25		↘					0.33	↗				0.50	1.25	↗	1.75	0.75	↘	2.67	1.33	↘	0.67	0.67		
咽頭結膜熱	0.12	0.06	↘	0.29		↘										0.25	↗					0.25	0.25					0.33		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.15	0.12	↘	0.43	0.14	↘	0.25	0.25		0.50		↘														0.33	↗		0.33	↗	
感染性胃腸炎	1.35	1.79	↗	3.00	2.14	↘	0.50	1.00	↗	1.50	2.00	↗	4.33	4.33			0.25	↗		1.75	↗	0.75	0.75		0.33	1.33	↗	1.00	3.33	↗	
水痘	0.09	0.03	↘	0.14		↘	0.25		↘										0.25	0.25											
手足口病	0.56	0.44	↘	0.57		↘		0.25	↗		0.50	↗	0.33		↘					0.25	↗	3.25	2.50	↘	0.33		↘		0.67	↗	
伝染性紅斑																															
突発性発しん	0.15	0.03	↘	0.14	0.14		0.25		↘										0.50		↘	0.25		↘							
ヘルパンギーナ	1.85	0.85	↘	1.00	1.00		3.75		↘	4.00	0.50	↘	3.33	0.33	↘	0.25	0.25		1.25	1.50	↗	0.75	1.25	↗	2.67	1.00	↘	2.00	1.67	↘	
流行性耳下腺炎		0.32	↗					2.75	↗																						
川崎病																															
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		1.00		↘										*	*		
細菌性髄膜炎															*	*															
無菌性髄膜炎															*	*															
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗												*	*						1.00	↗								
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*															
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*															

(注) ・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。
 ・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



【第34週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢	
		患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数
インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	10	0.19	3	0.27					1	0.25					5	0.71	1	0.20		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1,390	26.73	388	35.27	138	23.00	104	34.67	99	24.75	123	20.50	108	18.00	245	35.00	78	15.60	107	26.75
小児科定点	RSウイルス感染症	18	0.53	3	0.43					1	0.33			5	1.25	3	0.75	4	1.33	2	0.67
	咽頭結膜熱	2	0.06									1	0.25			1	0.25				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.12	1	0.14	1	0.25											1	0.33	1	0.33
	感染性胃腸炎	61	1.79	15	2.14	4	1.00	4	2.00	13	4.33	1	0.25	7	1.75	3	0.75	4	1.33	10	3.33
	水痘	1	0.03											1	0.25						
	手足口病	15	0.44			1	0.25	1	0.50					1	0.25	10	2.50			2	0.67
	伝染性紅斑																				
	突発性発しん	1	0.03	1	0.14																
	ヘルパンギーナ	29	0.85	7	1.00			1	0.50	1	0.33	1	0.25	6	1.50	5	1.25	3	1.00	5	1.67
	流行性耳下腺炎	11	0.32			11	2.75														
川崎病																					
眼科定点	急性出血性結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*
	流行性角結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*								
	無菌性髄膜炎											*	*								
	マイコプラズマ肺炎	1	0.13									*	*			1	1.00				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*								
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*									

* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ／COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-33週		34週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	8732	42	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	1		
三類	細菌性赤痢	24		
	腸管出血性大腸菌感染症	1943	11	2
	腸チフス	27		
	バラチフス	6		
四類	E型肝炎	374	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	33	1	
	エキノкокクス症	9		
	エムボックス	187		
	黄熱			
	オウム病	7		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	14		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシオイデス症	1		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	108		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	109	6	
	デング熱	65		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			

類型	疾患名	1週-33週		34週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	240		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	12		
	野兔病			
	ライム病	18		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
五類	類鼻疽			
	レジオネラ症	1336	13	
	レプトスピラ症	10		
	ロッキー山紅斑熱			
	アムール赤痢	318		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	158	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1163	13	2
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	40		
	急性脳炎	343		
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	97		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	535	3	
	後天性免疫不全症候群	609	1	
	ジアルジア症	31	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	358	4	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1147	11	
	水痘(入院例に限る)	245	3	
	先天性風しん症候群			
梅毒	9482	26		
播種性クリプトкокクス症	109	1		
破傷風	68	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	80			
百日咳	595	14		
風しん	10			
麻しん	22			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11			

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から3人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田中央保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症が大館保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

感染症に関するお知らせ

水害発生時の感染症対策について

大雨などによる土砂災害、家屋の浸水等の後は、感染症のリスクが高まります。がれきや汚泥の除去作業を行う場合には、レジオネラ症や破傷風等の感染症に注意が必要です。

■予防のポイント

- ・作業時は、けが防止のため、長袖、長ズボン等の素肌を露出しない服装で行いましょう。
- ・丈夫な手袋、長靴、安全靴、保護めがね等を身につけ、水や土、汚染された廃材などを直接触ったり、くぎなどを踏み抜いたりしないよう体を保護してください。
- ・土ほこりやエアロゾル(細かい水滴)の吸い込みを防ぐため、マスクを着用しましょう。
- ・休憩時や作業終了後には、石けんと流水でよく手を洗ってください。
- ・発熱、傷の化膿、口が開きにくくなる(破傷風の初期症状)等の症状がみられた場合には、早急に医療機関を受診しましょう。

■水害時の衛生対策について、県ホームページで紹介しています。

美の国あきたネット：水害時の衛生対策
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/27182>

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が3件ありました。

事例の種類	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
かぜ様症状	大館	教育・保育施設	8/21	82名のうち26名	22名のうち0名	26名	8/14～8/21	咳嗽、鼻汁、発熱
	大仙	教育・保育施設	8/23	90名のうち15名	38名のうち0名	15名	8/20～8/23	発熱
	北秋田	高齢者施設	8/25	60名のうち14名	27名のうち0名	14名	8/11～8/25	発熱、咳

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は4ページに、ヘルパンギーナの集団発生報告は6ページに掲載しています。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

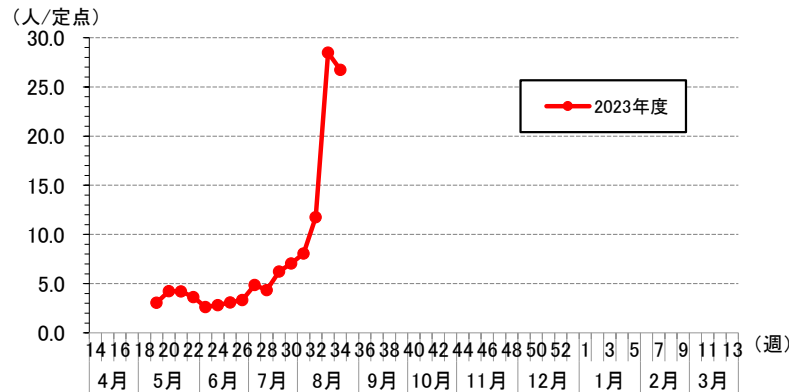


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

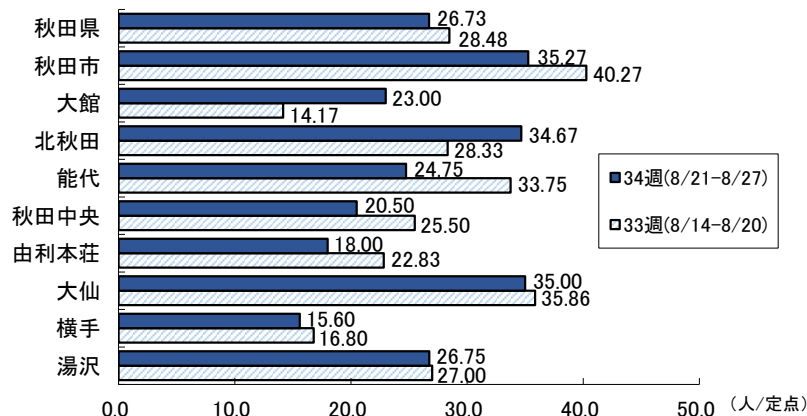


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生状況

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告が16件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	大館	社会福祉施設	8/21	30名のうち10名	58名のうち4名	14名	8/17～8/21	発熱、咽頭痛
2	大館	高齢者施設	8/21	77名のうち7名	57名のうち4名	11名	8/18～8/21	発熱、咳嗽、鼻汁
3	能代	高齢者施設	8/21	67名のうち10名	52名のうち8名	18名	8/14～8/21	咳、発熱、咽頭痛
4	由利本荘	高齢者施設	8/21	65名のうち20名	73名のうち13名	33名	8/15～8/21	発熱、咳嗽
5	大仙	高齢者施設	8/21	17名のうち4名	19名のうち12名	16名	8/15～8/21	発熱、咳、鼻汁
6	秋田中央	高齢者施設	8/22	20名のうち5名	19名のうち5名	10名	8/13～8/19	発熱、咳、咽頭痛
7	秋田中央	高齢者施設	8/22	66名のうち10名	34名のうち3名	13名	8/14～8/21	発熱、咳、咽頭痛
8	秋田中央	医療機関	8/22	58名のうち9名	20名のうち3名	12名	8/14～8/22	発熱
9	大館	高齢者施設	8/23	18名のうち8名	16名のうち3名	11名	8/15～8/22	発熱、咳嗽、鼻汁、咽頭痛、痰
10	秋田中央	高齢者施設	8/23	35名のうち13名	7名のうち2名	15名	8/17～8/22	発熱、咳、鼻汁
11	秋田市	高齢者施設	8/24	40名のうち4名	35名のうち9名	13名	8/13～8/24	発熱、頭痛、咽頭痛、咳、嘔吐、悪心
12	秋田市	社会福祉施設	8/24	81名のうち4名	79名のうち6名	10名	8/17～8/24	発熱、咽頭痛
13	秋田中央	高齢者施設	8/24	18名のうち6名	21名のうち5名	11名	8/17～8/23	発熱、咳、鼻汁
14	能代	高齢者施設	8/25	8名のうち4名	7名のうち1名	5名	8/22～8/25	発熱、咳
15	横手	高齢者施設	8/25	29名のうち5名	28名のうち5名	10名	8/14～8/25	発熱、咳
16	能代	高齢者施設	8/26	29名のうち10名	32名のうち3名	13名	8/15～8/26	発熱、食欲低下

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】 89施設(教育・保育施設6、社会福祉施設11、高齢者施設61、医療機関11)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



<感染症特別対策室からのお願い>

【はじめに】

8月21日から8月27日までの新型コロナウイルス感染症の定点あたり患者報告数は26.73と、先週に引き続き高いレベルを維持しており、患者の増加に伴い、かかりつけ患者以外の対応ができない医療機関もでてきています。県民の皆さまには、一人ひとりができる感染対策を続けながら、受診のしかたに気を配っていただき、医療体制のひっ迫回避にご協力をお願いします。

【受診の流れ:右図】

○症状がづらいとき、重症化リスクのある方

新型コロナウイルス感染症の診療を行う医療機関としてコロナ専用ポータルサイトで公開している「外来対応医療機関」を受診してください。

(外来対応医療機関 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/68105>)



○基礎疾患のない若い方など、症状が軽い方、重症化リスクの低い方

症状が軽い方や、基礎疾患のない若い方等は、検査キットによる自己検査を行い、感染が確認された場合には、市販の解熱鎮痛薬などを活用しながら、できる限り自宅療養への協力をお願いします。

(検査キット取扱薬局 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/72530>)



○受診先にお困りのとき

24時間対応可能な総合案内窓口を利用ください。情報が携帯電話で得られる自動音声案内やLINE相談も活用ください。

- ・総合案内窓口 8:00～17:00 電話:018-895-9176
17:00～翌8:00 電話:018-866-7050
- ・自動音声案内 電話:0570-011-567
- ・LINE相談 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/68171>



【基本的な感染対策を】

5類感染症へ移行し、感染状況が落ち着いていた時期もあったことから、感染対策への意識が低くなっている可能性があります。換気や手洗い・手指消毒、医療機関や高齢者施設の訪問の際など、場面に応じたマスクの着用等、引き続き、基本的な感染対策に気をつけてください。

(基本的な感染対策 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/74809>)

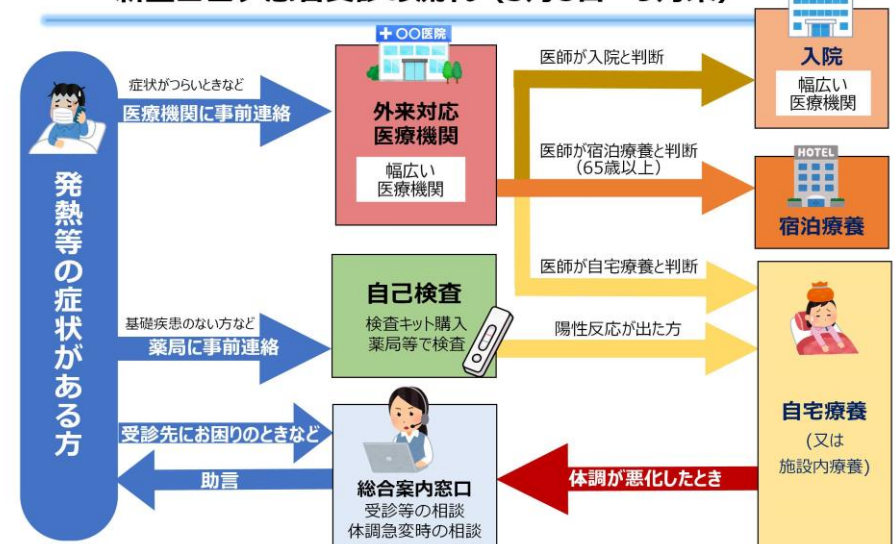


【医療ひっ迫を避けるために】

重症化リスクのある人が確実に受診できる体制を維持するために、次の3つの事項をお願いします。

- ① 救急車・救急病院や119番の適正利用(軽症の場合、自宅療養を！)
- ② 症状がある場合、連絡してから受診
- ③ 医療機関に検査・治癒証明を求めない

新型コロナ患者受診の流れ (5月8日～9月末)





2023年度 ヘルパンギーナ情報

ヘルパンギーナの警報が解除されました

ヘルパンギーナは、エンテロウイルスを原因とするウイルス性咽頭炎で、代表的な夏かぜの1つです。秋田県の今週の定点あたり患者報告数は0.85と、先週(1.85)より54%減少し(図1)、先週まで4保健所管内(大館、北秋田、横手、湯沢)で出していた警報も解除となりました(図2)。患者報告数は減少傾向にあります。引き続き、手洗い等による感染予防を心がけましょう。

■症状

- ・40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発疹が現れます。
- ・患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎などを併発する場合があります。

■予防のポイント

- ・手洗いが有効です。便には、回復後も2～4週間、ウイルスの排出が続くため、特にトイレ後やおむつ交換後の手洗いはしっかり行いましょう。

- ⚠ のどの強い痛みにより飲食が困難な場合は、脱水症状などを起こさないように注意しましょう。
- ⚠ 意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

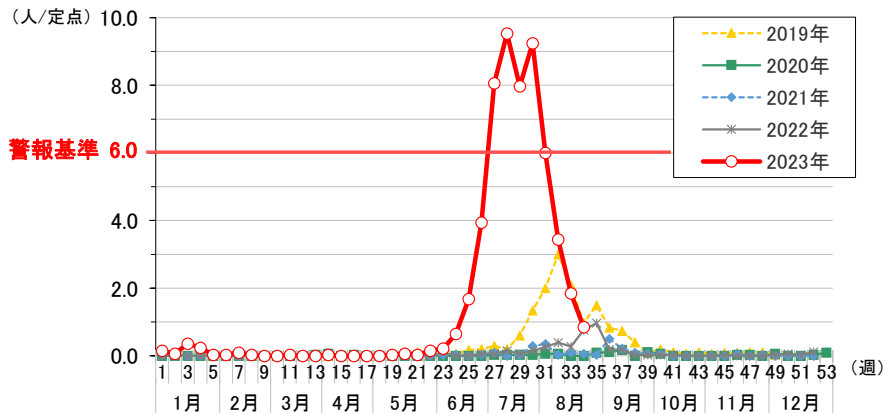


図1 秋田県におけるヘルパンギーナの定点あたり患者報告数

ヘルパンギーナの集団発生状況

ヘルパンギーナの集団発生報告はありませんでした。

【2023年度の累計報告数】 27施設 (教育・保育施設27)

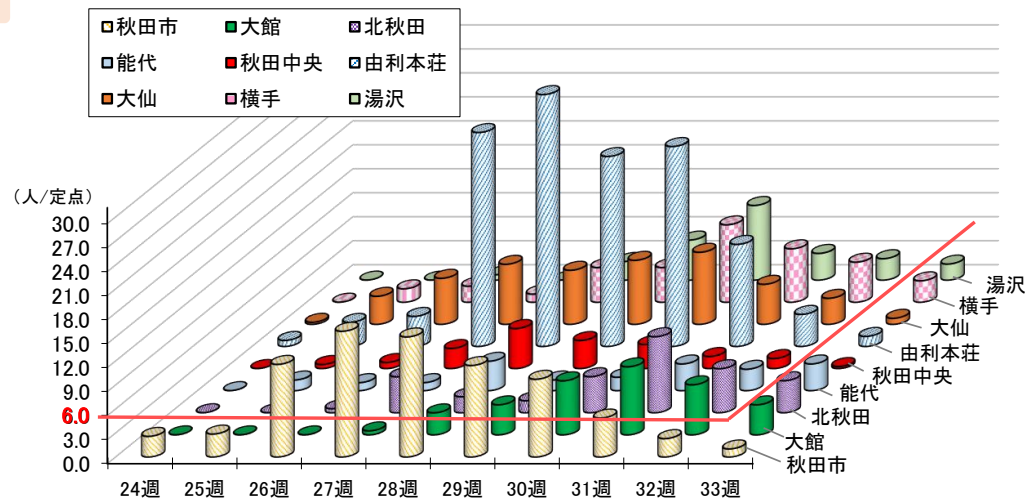


図2 ヘルパンギーナの保健所別定点あたり患者報告数



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	大仙(2.50)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		